

バストス週報

第1525号
昭和五十年
七月二十三日
月曜発行
Director
Kaiti Mori
Redator
Shoho
Miyatake
Rua 10 de
Novembro 882
C. Post. 112
Fone. 340
Bastos
E. S. P.
Anual
Gr. #
65.00
前金 Adiant.

潮騒 31

バストスは四十八歳

去る六月十八日を以て、バストス移住地は四十八歳を迎えた。今日七月二十三日から二十五日まで三日間のバストス誕生祝が華麗に展開される。社共バストスに住む者にとつてはこの上もない慶事である。わがバストスの現在は道郷より一銭の抽出で生産高を誇り、バストス生れの青年から大臣をはじめあらゆる分野に際秀出した知名が統出し、バストスの名を掲げており、市街地は云うに及ばず農村全般電化し、殆ど余す地なく電話が架設中であり、自動車は数に戸数を上廻ると云う有様で、農村の家屋はすべて高級住宅となり、益々繁栄一途をたどりつつあり文字通りのユートピアと云つても過言ではないであらう。

しかしながら、四十八歳の円熟したバストスの少年時代、をふり返つてみるに、歩んできた道は決して平坦ではなかつた。寄せては返す浪の波にも似て、采荷漁業は世の帝と云つが、よくも此処まで漕ぎつけられたものだといふ思いが深い。

一九三五、六年の満植の頃は、植民者は一ヶ家族に達し、アルゴドン系氣にこの世の春と謳歌をきる様に育つたのもつかの間で、元から肥沃な地は、た地力の衰微に随一年増に減産して、入植十年にして退植する者も現われはじめた。

第二次大戦勃発に伴ない養蚕景氣とハツカ好況も終戦と共に要は完全に打砕かれ、土地を捨てて退植する者は数割れず、全く油の切れた灯火にも似て暗澹たる数年であつた。植民者の半数以上が去つたバストスに残つた者は、此処を墳墓の地として移つて来た軍分組の直末者と、移転費もなかつた為め是非なく居残つた者が大部分であつたが、このどん底を救つたのが養鶏であつた。

カスカッタ区の渡部キヨさんは入植数年にして早くも地力の衰を悲し、バストスの将来のために養鶏を思い立ち、レトニア、弓場等の養鶏場を引継ぎ模範的ケランシヤを視察し、研究して、自ら養鶏をはじめ、人にも奨励し、卵卵機を購入し、優秀種の種卵を取り寄せ孵化して道隣に配給した。

鶏卵出荷は御子息の故バウ口氏が聖市コチア産業組合と契約を成し、やがては玉子の出荷量が増え、コチア産組バストス倉庫が設置され、斬くバストスの養鶏が軌道にのつた。

一方ケロリアの桑原さん(久治郎氏)が渡伯に既し携えて来たボンカン南二本の内一本が育ち、ボンカンの美味が認められ、これを接穂としてボンカン苗が生産され、またたく間にバストスはボンカンの産地として知られるようになった。

祝バストス入植四十八周年祭

美しいお肌が生れるひみつ... 脱脂入り

わかクリーム

夜 乳液 ウニベルサルハニシング
コールド クリーム

WAKAMOTO UAKA

酒 タバコ の 毒

DESINTOXICANTE
ENZIMAS + COMPLEXO + MINERAIS

百倍強力

わ か も と

祝入植四十八周年祭

フローラバストス苗木店

本林元苗木店

本林元武雄父子共營

ツツケチカシマス街五二四番の下

郵函一七一番
電話二九 番

又西爪の適地である地から西瓜、メロンブームが起り、前途に曙光を見たのは二十年位前の事であつたと思われろ。

思うには本人の忍耐力と勤勉と教育熱心とがあれど、入植数年にして、地盤の固まらぬ困苦の中、子弟の為に中学校を自力で建て教育に力をそそいだお蔭で児童の向学心を高揚し、中等から高等へ、さては最高学府へ進む者も次第に増え、医師、判事から博士、さらに大臣まで出てバストスの名を高めてくれた。

今日四十八周年の誕生を祝う玉子まつり催すに

きり、牛乳の缶はカバナ線ワタ製から牛乳を分けて入付し、ランシヤリヤ入道に代り相き、電話線をかいたの月名を記し、...

力入り、夕区、プログレソツ区、アホ区、サウシ区、...

ンとは学校を建てた一世達の勤勉を想ふとき、今更日のがやかしいバスト人は、一世達の汗と油の賜と云わねばなるまい。

しかし、これだけの一世たちは、自らが育つたバスト人が四十八歳ともなり、牛乳にわたるべきに老い、...

すみ、手は遠くなり、既に物故者の数も多い。

今日の入植を誇り喜ばれたであろう移住地支那人の畑中仙次郎氏も逝いて久しい。

明後二十五日(日)の午前十一時より会館に於いて敬老会が催される。そして日系だけでも二百余名、ブラジル人を加えて三百人からの老人が招待されるが、入植祭は準備中お祭りではない。...

世の開拓の功績を懐かし、羨える程思いを馳せ、...

く等の出立ない、中の最大行幸であり、一層繁栄への前途の障不致の響きであろう。

勝 市

宮崎北眠氏の偉業

” 思ひ出のアルバム ”

― 遂に堂々完成 ―

宮崎北眠氏がバスト入植地当時から現存に到るまでの歴史を写真帳にして残したいと云われたのは、一九二二年頃であったと思う。

二年ほど前に氏を訪問したとき彼は美大生吉い色褪せた写真に埋れるようにして、その写真を見せ、その写真の裏に、人物、場所、年代を目的の両語で筆跡よく記入して居られたので私は、

「二リや六ツはなすをすな」と訊いてみたら、

「私の生涯の事」と訊いて居るが、舌をくち集めたのが何年頃のものか判明せず、一枚が写真を持つてあろうとすると訊いて歩かればならず、又欲しい写真が見つからず、これが完成は何年先のことかわかりません」

と云って居られた。金儲けに忙しむに忙しむに、金儲けしていても、その結果の容易でない。...

吾々のように入植地、とうとうい出さずともない、...

こうして一年、一月と年月が流れてい、...

七月十五日夜、所用で出かけた帰途、...

「おまへ早くお届けしようと思ひ乍ら入るなないもておくれすみません」

と云って出してくれたアルバムを手を取って、その豪華さに驚き、完成のおよろこびの詞を述べ、...

忘れて見惚れてしまった。

三ピンチ、白三十三、...

豪華さ、打ち込みの文字が特に目をひく。...

伊藤流領事官序文を言われている。この序文は、...

のように述べられている。

AVISO de HOSPITAL de BASTOS

祝 四十八周年入植祭



眼科専門

眼科を開設致しました

診療日は毎月第一と第三金曜日
となっておりす

海野勲先生

治療の外めがねの度も調べ、
眼の手術もいたします

バストス病院

各位

序文

バストス移住地の入植四十五周年を記念して、...

北眠氏が目に見えるバストス人の歴史「思ひ出のアルバム」を編纂される由、ここに衷心よりお慶び申し上げます。

海外移住地連合会がバストスの土地一万二千八百アルゲールを購入したのが一九二八年六月十八日で、翌年第一回移住者が入植して、...

を移住地の皆さんは入植以来適作物の選定に苦闘を創出し、子弟の教育のため学校を建設し、また農業協同組合を組織して農産物の流通をはかる等あらゆる苦勞をされて今日のようになされた地を造成されました皆さんの御努力に対し衷心より敬意を表するとともにこのアルバムにより永く記録され、後人の良き指針なることを期待する次第であります。

一九二五年八月

石サン、パウロ日本国総領事館
総領事 伊藤 政 雄

と、全文を御紹介する。次頁には、バストス日伯文化協会々長、崎田春一氏の詞がある。これには次のような文を内挿して寄せられている

「想ひ出のアルバム」の発刊によせて
バストス入植四十五周年を期に宮崎北眠氏目で見
るバストスの歴史「想ひ出のアルバム」の編纂と云
う大事業に取り組んで、あらゆる角度からバストス

移住地の古い、そして歴史的な価値ある多くの写真を集め、それに日伯両語の説明をつけるという意欲的な熱意と努力には頭の下る思いがするのは私だけではないであろう。

今や各地で五十年、六十年を記念する催しものが行われているが、日本語のみに依る祭などはだんだん一般の関心も少くなっている。先輩や自らの尽力によって築き上げた植民地や移住地の史実を後世へ正しく伝える事は一世が果すべきではなからうか、斯した時にあたり、日時は多少おくれたにせよ、本書を後世に残すことは、ただだんに宮崎氏の事業としてのみにとどまらず、バストス人として大きな喜びである。

発行にあたり同氏の時宜を得た企画と立派な制作に対して敬意を表し、心からお祝申上げる。

一九七五年 七月
バストス日伯文化協会
会長 崎田春一

と譲許を贈っておられる。北沢氏自身もあとがきに次のように述べている。また宮崎氏は偏纂記として次の文が最後に記載されているので、これ全文御紹介して置くことにする。

後記

バストス日伯文化協会の後援を得てアルバム資料を集め始めてより三年半を経て、ようやく偏纂を終りました。

願ふる時この事業は無学の私には余りにも重くあり、種々な難関にあり、幾度ひか毎迷滞の時もありましたが、資料を提供して下された皆々様方、特に崎田春一、西徹、山中三郎、阿部新蔵の四氏の懇篤なる援助がなかつたら、このアルバムの完成はみられなかつたこと存じ、改めて御礼申し上げます。このアルバム偏纂に当り、衷心御り歴史の重大さを感じ、又歴史を綴るといふことが実に困難なことがあるかといふことを、流々と痛感せられました。四十五年間の月日は歴史としては浅いかも知れませんが、バストスにとっては大なることと存じます。二世、三世諸兄に残す文化の一端と存じます。二世、三世諸兄に幾分なりとも遺する趣となり、又バストス移住地の参考として見ていただければ、私の生涯の光栄とするものであります。

一九七五年 七月
宮崎北眼

以上が大業に取り組、四年間にわたり全書を傾けて、遂に難業を征服した宮崎北眼のいつわらざる心境であろう。ただただ感動と賞讃に声を震ますは詞を申しあげたい。

このアルバムは、一九二八年から一九七三年までの得がたい写真が恐らく六百枚くらい収められているのではなからうか。四十数年前のバストス市街地、てこぼこ道と板屋根の商店、病院前には、リ建っているイグレージャから製材所、ブラ拓事務所、製米所、発露所は寫を見ればわかるが、今は世にない人物に至っては印刷されてある説で記憶の影から甦える。その中から自分の名前があるので写真の中から

一枚がし出してみて、自分にもこんな若い日があったのかと、感概無量である。別れた友も死別した人も皆元気で着いのかどうか。

拙作最難関に於ける崎田春一の遺夫に後された綿の山などは戦後の生れでは知る由もなからう。運輸組合のカミニオンが綿を満載してランシャリアに向って玉向のの列を作っているのも知らないであろう。各ピソソンの青年会の種々雑多な記念撮影が何十枚か掲載されているが、この写真を見て、その人物の名前を日伯両語で記してある説明を見ずして言い当てるこの出来る人が何人あるだろうか。

開拓当時の風俗、衣服の流行による変遷なども見逃がすことは出来ない。また終戦間もなく来植した宗教家と芸術家の歓迎ぶりもなつかしいが、戦前は声楽家の藤原義江、宗教家の香川豊彦師等々戦前戦後を通じて来植した名氏高官の記念写真から、ブラ拓製糸や根柢材所の火事など、戦前の天植祭の記録からス、ボーン関係の写真も多い。

ス、ボーンと教育ではなつかしい先生方が数多くうに記している。今改めて見ると、どの先生方も子供のように若いのに驚かされる。

もしこれら若い写真を突然見せられても、それがどんな時の誰れの写真か判る人は少いだらうか、この写真帳では日伯両語で説明を記入されているので二世三世の若い層はもとより、ブラシル人にもこのアルバムにより、バストス五十年の歴史を知ることかできる。このアルバムを手にして如何に労作であるかが判り、宮崎さん、ありがたうと云わたい者はなからうかと信じて願わたい。

御禮

去る七月十一日挙行の当区家族慰安運動会に際し左記の方々より多大の寄附並に御祝儀を戴きまして実に有難うございました。

御祝儀として好意に送れ和気藹藹に楽しく一日過ごされた方を感謝致しますと共に午時後紙上にて厚く御礼申し上げます。

- 記
宮崎の部 南米銀行様 古茂田池田商會 様
クランジマ長尾 サウルスフリート会社
M.船 橋様 堀 川 様
マテジニヤ倉様 リオラン三會計事務所 様

- 祝儀の部
中央会組合 井 畑 様・生方将義 様
オールランド上 本 様 眞木 橋 様
照井英雄 様 森元菊夫 様
齊藤登 様 丸見哲人 様
G.II区竹 原 様 佐々木久晴 様
以 上

一九七六年 七月十七日
ファルツラ区
区長 池田 健

死亡通知並に会葬御礼

母、宇都宮コフジ（八十歳）儀老衰の為め去る七月十二日午前十時二十五分天寿を全うし長逝いたしました。依って翌十三日午後四時自宅出棺、本願寺に於いて告別式を相済み、ハストス墓地に埋葬致しました。此の儀生前御交誼を賜わりました皆様へ謹んでお知らせ申し上げます。尚、葬儀に際しましては御多忙中遠路御会葬下され、その上御鄭重なる御香料並びに花輪などお供え下され誠に有難く厚く御礼申し上げます。

実は一々御伺いして拜眉の上御礼申し上げねばなりません。取込中に付き其の意を得まじず、失礼をかえりみず、取敢えず紙上を以て御礼の御挨拶申し上げます。

一九七六年 七月十五日

喪主 長男 宇都宮 利郎

妻 〃 〃 千末

次男 〃 〃 耕二

妻 〃 〃 千寿子

長女の夫 木下 喜賀

妻 〃 〃 久美

親戚代表 亀井 龍平

- バストス中央親睦会様
- バストス中央第三区様
- フラ拓製糸株式会社様
- ブラスシダ兄弟商会様
- バストス南米本願寺様
- バストス仏教婦人会様
- バストス同朋青年会様
- バストス福音ホーリネス教会様
- PLバストス教会々員一同様
- バストス不明老会様
- 会葬者御一同様

フランスに最初の足跡を印した人達

故 鈴木南樹翁の遺著から

私が「三浦門題ですか？」と訊くと、揮旗は、「そうです。私達が三浦から散々こき下される様な破目になつてね」

揮旗は心外に堪えないという顔をした。「一体どうしたんですか？」

私はどうしても飲み込むことが出来なかった。「それがね。三浦が私達の心情を誤解してしまつて、いるんでね。全くあの男には手がつけられん」

こう云つて語り出したのを総合してみると、私が腫物の痛みに堪えず帰つた後、日本人同志会の連中がやつて来て、国賊三浦の肩を持つとは何事だと散々に脅かされる。大騒ぎであつたが、とにかく黒石も逃げて、三浦に謝文を書かせることになつた。

三浦の節では、自分はどうなつても言わぬが、むしろ君達の方で思つたままに書いてくれと云うことである。成程それもよからうと、丁度揮旗の所に居込んで居た中西周園に書かせたのを日伯新聞に発表させた。云うのである。三浦は、何処で誰が知らせたか解らないが、国外追放の方にもみ消されて大丈夫だと言つたことが解つた。(以下破損の為不詳)

おことわり、本書は四十年の間に多くの人々に読まれる間に破損したものであろう。日伯新聞社長三浦肇氏の国外

事件は私共日伯国居住者にとつて忘れてはならない大事である。私は日伯新聞に掲載された三浦氏の謝罪文を読んで驚いたことを四十年を経た今も因でも記憶している。謝罪文は文語体でまるで敬頭敬状文で、三浦社長が横断して再び日伯紙上で日本人同志会に攻撃の矢を向け叩き始めた三浦社長の気持も解らぬが、日伯紙の社説は三浦社長の独特の皮肉な文章であまりにも激しいものであつた。国外追放をまぬがれた社長三浦は安心して反駁文を書き続けている内にひそかに岸本次男氏はリオの大使館通いをはじめていた。それは三浦氏の国外追放の運動で、三浦は遂に鈴木南樹氏、揮旗氏の苦肉の骨折れもむなしに国外追放処分発表がフランス報紙に報導された。

そして間もなく三浦社長は悄然として日本へ去つた。私共日伯新聞愛読者にとつては全紙の扉刊は淋しい思いで惜しい思いをした。遂に箱を秘せぬ皮肉な「ぶりの名文に苦笑しながら読ませて貰つたものでありなかつたか、しい思い出でる。

三浦社長が追放処分になつて既に四十年近い。大戦中三浦氏は何処をどうして過したであろうか。終戦後一、二年後に三浦氏の死亡をパウリスタ新聞で知つたが、三浦氏が何処で死亡したのか忘れてしまつた。毒にもなり、又乗りもなつた名物男、三浦氏の追放処分を惜んだ人は多いであらう。仲の悪かつた岸本次男氏も世を去つて久しい、こうして挿入は次々と世を去り、健在の人はいくばくもない

完 勝 南

シチュアンの皆様へ御通知

今月より道路税が次の様に徴収されますので、各戸別或は商店、組合に通告状が渡されてあります。

- 六月分は 七月十日まで
- 七月分は 八月十日まで
- 八月分は 九月十日まで
- 九月分は 十月十日までと

なつて居りますが、七月三十日迄に全額御支払いの方には10%の割引を致します。

バストス市役所

徴 税 課

PREFEITURA MUNICIPAL DE BASTOS

SENHORES PROPRIETÁRIOS DE IMÓVEIS RURAL

Inicia-se partir deste mês de junho a cobrança de TAXA DE CONSERVAÇÃO DE ESTRADAS DE RODAGEM MUNICIPAL, tendo sido os avisos distribuidos diretamente aos proprietários ou através de Cooperativas e casas comerciais.

- O recolhimento será feito da seguinte maneira:-
- JUNHO até o dia 10/07/76.
 - JULHO até o dia 10/08/76.
 - AGOSTO até o dia 10/09/76.
 - SETEMBRO até o dia 10/10/76.

Os contribuintes que desejarem efetuar o pagamento de uma só vez, gozarão um desconto de 10%, até o dia 30/07/76

Lançador da Prefeitura Municipal de Bastos, aos 06 de junho de 1976.

Alguerto Paskakulis
Lançador Municipal

バス入植四十八周年記念祭典行事役員

委員長	崎田春一	演芸福利委員長	佐藤茂
副委員長	前山義雄	委員	小野等志
書記	小澤将男		溝部俊
會計	梶山茂平		梶原清
	本田一		荻田紀元
	前田育		松下家
	味野豊		塩飽保
密接待	前山義雄		大野比佐毛
	小澤将男		池田健
	石川雅宏		信太順治
	佐々木総		元木昭
	柴田高広		上村大八郎
演芸総務	松森正		豊田政次
演芸企画	宇佐美宗一		照井英雄
勸進元	長橋智・前田育人		岩橋満雄
	日本一二・味野豊	堀内整理	上原一臣
	味野雄		小野佐一郎
敬老者観覧席接待	榎原清	郷原周良	
	森下義春・宮崎将義		生井沢定次
舞台監督	水野耕作		小野寺友衛
行進及レコード島本	吉永久男	敬老会招待順備委員	
	浅川美穂・森屋正二	委員長	前山義
	高橋安正・中浦成一	副委員長	小澤将男
舞台公報及ビアナウンソウ	小倉三夫		堀山茂平
	森正		岡本一二
	境井裕視		野村喜一
舞台照明	宇佐美宗一		渡辺栄喜
	水野耕作		上原一臣
	野村辰一		大高春男
台詞順備	梶山茂平		本多宣皓
	境井裕視		小野等志
	小林春雄		溝部俊
	渡辺栄喜		梶田紀元
	草野不吉		松田健
	小田切敏雄		信太順次
			元木昭
			上村大八郎
			豊田政次
			照井英雄
			岩橋満雄

御法事御案内

勲五等光明院釋信明
故信太兵治殿

三十五日追悼法要

御生前の御功労を偲び、謹んで哀悼の意を表します

此の度び北海道々人会有志及び多数有志の方々の御世話で忌中三十五日の御法事を当院に於いて、来る七月二十四日(土曜日)

○午後四時に始めて、正午後五時に終る様

時間を厳守して勤致します。入植祭の御多忙中の処、誠に忌縮のごさいますか、どうか有縁無縁の皆様、お詣りをして御焼香下さいますよう謹んで御案内申上げます 謹言

バスト又南米本願寺

主管

御一同様

御礼

一金一封也

右は御母堂故宇都宮コラシ梅御昇天の御り当教会へ御進納下さりました、厚く御礼申上げます

バスト又福音ホーリス教会
宇都宮利郎様

御礼

金一封也

御母父信太兵治様御逝去の礎石の御高附を拝受致しました、有難く御礼申上げます

バスト又柔道部

信太様

御礼

金一封也

御母堂故宇都宮コラシ梅御逝去に際し当会御寄贈下さいました、有難く御礼申上げます

バスト又明老会

宇都宮利郎様

慶祝開植四十八周年祭

バザールボンボ

バスト又代官店
ジルナル、オ、エスタード、デサン、ハウロ

守越外治

バスト又メルカード
アテマルデバスト又街二、四、三番
電話一六八七番

祝入植四十八周年祭

バスト又メルカード

太郎田衛

バスト又メルカード
ルア、ア、マル、デ、ハ、ロ、ス、街、一、七、五、番
電話一六八七番

開拓館成功を祝う数え歌

海野生

- 一、一生一度の大事業
 - 二、高物は望み移民の宝
 - 三、皆ん刀脇刀希望に燃えて
 - 四、よく考えた思案の結果
 - 五、いつでも永いの体勢で
 - 六、無理をしないで余裕を以て
 - 七、何んでも良いと史料を果め
 - 八、やと生れる目標達した
 - 九、茲道果めて故岸も起さず
 - 十、殊うとう祭れた金字塔
- 徳元諸人大願成就

つくつくづくし

一、いそぎを越えて新をづく
 やり録算段ウソをつく
 貧乏財布は底をつく
 今年も豊作花がづく
 燃えるキッスで組がづく
 重き病人床につく
 抜けたい古釘腐れつく
 金の位儼に台がづく
 ニギビの兄ちゃん色気づく
 卵の値上げで景気づく
 後妻の花嫁コブがづく
 会社も重役秘書がづく
 箱八娘に虫がづく
 家のけんかは何でづく
 乾面終つて席につく

大正四年頃のモンソン雑景

故 輪湖俊午郎氏

金子保三郎

大正四年頃の頃であった。金子アチの奥にいた金子が突然サンパウロへ妻子と共に引き揚げて来た。
 「おい、これから君の言うた新聞屋の計画をするんだ、そのつもりで居てくれんか」と、口説いた。顔に赤も変らず服尻に皺を蓄けて元々一歩の微笑を凝らした。
 「新聞屋はよいが活字は何にするんだい。」「活字はどこのついでに北米へ行ってマ、たら、箱八から何れか選んで送信して来てくれるんだが」「いやそれは僕に任せて呉れ、これから僕は同谷を一週して運来をする。戦争で船の都合が心配だが、然し日本品がブラジルへ来ている位だから大丈夫と思つ。君は新聞の経営と編集の方をや、て呉れればいいんだ。」

おしらせ

第四十八周年バストス入植祭典

祝賀ゴルフ大会

左記の日に催します。愛好の方々振って御参加ください。

一日時 七月二十五日(最終日)

午前七時三十分開始

一、場所 於バストス ゴルフ場

二、競技方法 十八ホールをHP別・A組の20

B組21から27・C組28から36の三組に分けて競技する

三、参加費 なし

四、トロフィー 一等より四等

五、一等以上 十五等 外参加賞 以上

六、一九二九年七月十六日

七、主催 バストス老童会

八、後援 バストス市役所

九、バストスゴルフ倶楽部

十、

十一、

十二、

十三、

十四、

十五、

十六、

十七、

十八、

十九、

二十、

二十一、

二十二、

二十三、

二十四、

二十五、

二十六、

二十七、

二十八、

二十九、

三十、

三十一、

三十二、

三十三、

三十四、

三十五、

三十六、

三十七、

三十八、

三十九、

四十、

四十一、

四十二、

四十三、

四十四、

四十五、

四十六、

四十七、

四十八、

四十九、

五十、

ORGANIZAÇÃO RIO BRANCO S/C

ADVOCACIA CONTABILIDADE E DESPACHOS
Rua Pres. Vargas 189 Fone 105 e 180 C. Post. 130

石川法律会計事務所

DR. 石川雅宏

電話 一〇〇八
C.P. 一〇〇五三

ルア・フレンテ・ヴァルガス 一八九番地

御気軽にお相談下さい

法律一般の御相談

諸申告 諸願書

労働法 税法

商業会計事務

農業簿記代行

祝入植四十八周年記念祭典

石川雅宏

ちんていた。それ故移民を受け入れた国家が真の中心で振するのではなくては、立法のみでは真の同化は望めない。此れ等の植民地へは列れり尽せりの施設をしたのである。

モンソン植民地は第一、第二の二カ所に別れており、第二は第一と九里の草原地帯を隔て、数キロおれり設置されたものであった。彼の入地したのは第一モンソンで、此の植民地は当時僅かに百家族を越ゆる程度の小地積であったが、中央には管理事務所、地区の分割等種々の理想的なものであった。

今参考までに其の内容を概記すると、一地区の標準面積は二十五町歩であったが、土地利用上の均衡を得る為の地味地勢等を参酌した結果、それ以上の面積もあれば、以下のもであった。水流を一方の境として、エス・ピゴンを以て両分されていることは、何処の植地の地区別も同じだが、政府は外国移民が、その経済関係から住宅の粗末なものを作り、若しくは無経験より雑草を誤まり其の爲めに衛生乃至土地利用上の不便を齎し、土地を賣却するに先き立ち、七、八人の大家族でも天降なき程度の立派な家を建ててあった。普通四部屋に勝手付で、床を高くあげ、極めて衛生的である上、木造ではあったが、白ペンキを塗って外観もよかつた。而して一地区の価値は石の住宅付きで一コント五百ミル内外へ當時の換算で千円内外)であった。しかも支払方法は、三年据置五年年賦という寛大なものであった。

第一モンソンは当初の数年間に限り種子、農具など無料の上、私道の開設にも補助を与え、且つ医業

祝開植四十八周年記念祭

高田重利

も口ハであり、医師は毎週一回戸別訪問をえした程の親切であった。此の植地へ移住した國民は神、仏、伊、西及日本人などで、ブラジルに未だ新しい為め言語は互に怪しげなホルトカル語を用い、その足らざる所は手真似、足真似を以て補っていたが、皆仲睦じく、融合していた。

金子から彼が紹介された秋山と云うのは夫婦に子供が四人の家族で、これもついで、三、四カ月前に来たばかりであり、実は百姓を以て立とうと考えた訳ではなかった。移民地の初期に珍らしかうぬ事情から、サンパウロ市を落ち延び一時を茲に過す為であつたから、他人の土地を一アルケール程借りて細々と生計を立てて居た。家は堀立小屋の茅ぶきで、彼の寝る所もない程手狭なもので、秋山は彼を羨望の家へ紹介し、その家に彼は暫く厄介になる事と成つた。

義弟を村山と称し、第一回移民として実姉家族に入り渡航したのだが、当時また十五、六の少年であった。後耕地を出てからサンパウロでブラジルの学校に入り、一通り語学が出来た様になつてから、耕地通訳としてモテアナ線に行き、そこで結婚もし、事に勤めて居た廻、付しなくも殺人事件が起きた。山村は小男であつたが、胆力あり、且つ羨望心に富み、いつもニコニコして居た。

或とき移民船脱走の船員が泳れくけて彼の耕地へ来た。山村は気の毒に思い、此の船を食料として自分の家に置いたが、妙なことから山村に敵意を狭むよつになつた。

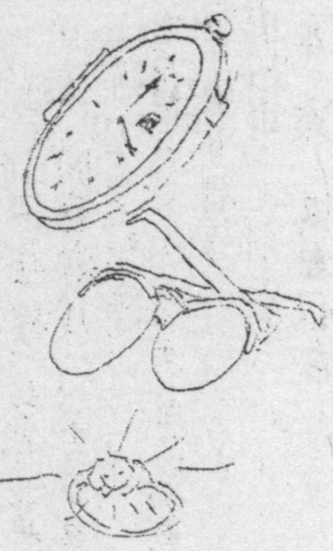
RELOJOARIA TAKATA

Rua Pres. Vargas 365 Fone 93

高田時計店

電話 九三二番

宝石 小巾



くけり めがね

ルア・フレンテ・ヴァルガス 三三六五

ロード・ヒアリオニ

ADVOCACIA MATSUBARA

祝入植四十八周年記念祭典

DR. HILTON BULLER DE ALMEIDA (ADVOGADO)

DR. MASSAHARU MATSUBARA (Advogado Economista) Rua Oswaldo Cruz 694, BASTOS Fone 154-376

CIVEL - CRIMINAL - TRABALHISTA

辯護士 経済学士

松原雅春

辯護士 ヒルトン・ブルル・デ・アルメダ

民法 刑法 労働法 納税

松原法律事務所

ルア・オズワルド・クルス八九四、電話四五四と三七六

バストス市ツッキ・デ・カンマス街

電話 一四二二 三九一

樋浦瀧翁

カッフェー(珈琲)苗木商

祝バストス入植四十八周年祭典

祝48バストス入植祭

祝柴田時計店

高級腕時計 懐中時計 柱時計

カラーテレビ各種

グラバドールステレオ

ボルソ用電子計算機

電気マッサージ機・蓄音機・ラジオ大小各種写真機
幻灯機・ミニリンネ・ガスライター・電気ひげぞり
ユビワ・メガネ・宝石・銀器・高級陶磁器
ファッショ・室内飾飾用品・記念品贈答品
拡声器・アンプ・イヤホン・おみやげ品
カスライター など

いろいろめずらしいものを取り揃えて
皆様の御来店をお待ち致して居ります

ルア・アデマル・デ・パロスニ一三番
電話 一五四番

Aviso de Cine Partos

七月二十三日(金)八時 二十四日(土)九時半
東宝 総天 お姐ちゃんお手やわらかに
然色 山口百恵 堀正章 藤村有弘

七月二十五日(日)マチネ午後二時 夜九時半、二十六日(月)八時
東宝 総天 がんばれ若大将
然色 草川正雄 関根恵子 湯原晶子
打べおとみ フランキー堺

七月三十日(金)八時 三十一日(土)九時半 監督 黒沢明
東映 然色 用心棒
三船敏郎 山田五十鈴 女子大生映画連盟
仲代達矢 加藤大介 ベスト5第一位賞
司茶子 志村喬

八月一日(日)九時半 二日(月)八時 監督 山下耕作
東映 然色 不良番長
内田朝雄 大木実 渡瀬恒彦
梅宮辰夫

八月六日(金)八時 七日(土)九時半 監督 山下耕作
東映 然色 田力の代紋
高橋英樹 遠藤達雄 待田京介
三ツ矢歌子 天津敏 島田正伍
南利明 大木実

八月八日(日)九時半 九日(月)八時 監督 恩地白川
東宝 然色 恋の夏 妙川知子
信州の木下路に男の怒りが吹き荒れた、高橋英樹のいかりの嵐、
「恋の夏」は、あまにもほい二人だったのに、太陽がたのういさとして海風が二人を誘ったアッそれは忘れられない夏、

「恋の夏」は、あまにもほい二人だったのに、太陽がたのういさとして海風が二人を誘ったアッそれは忘れられない夏、